

厚生労働大臣 優秀賞

事業者名等	医療法人河北会 リハビリデイ河北	自治体名	大阪府寝屋川市	分野	介護予防
取組タイトル	事業所開放型通いの場 ～通所C型卒業後の社会参加と役割づくり～				
WEBサイト	http://www.kahoku.or.jp/				

取組の経緯・背景

- ・介護予防・日常生活支援総合事業における通所C型を実施しており多くの方が回復してはいるが、元々の生活に通いの場や社会参加がない方は通所C型終了後に再び心身機能が低下するリスクがあり、社会参加の場や役割を提供できないかという思いがあった。
- ・通所C型を終了し自立した生活を送れるようになった方々に通所C型事業所で担い手（無償ボランティア）になって頂き、通所C型を利用する要支援者のサポートをして頂くようになった。

取組内容

【運動の場、社会参加の場の提供】

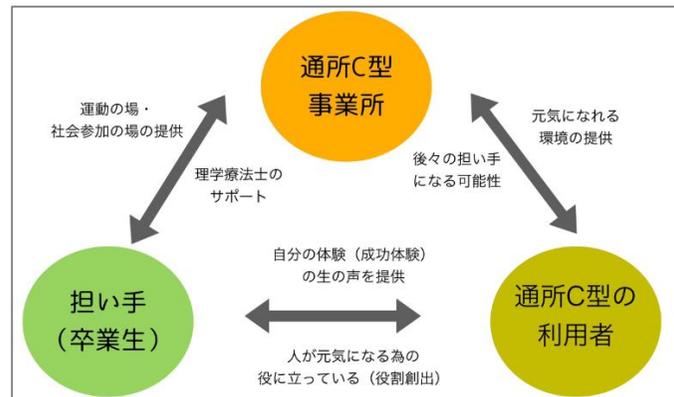
- ・通所C型を終了した卒業生にトレーニングマシンを無償で使って頂き、運動の機会を提供。
- ・卒業生は通所C型の利用者に自身の体験談を語って頂くなどモチベーションを上げる関わりをして頂く。そのことで利用者は卒業生の声を聞くことでより頑張れるようになるというメリットが生まれた。
- ・卒業生にとっては、運動もでき他者交流もできる場であるが、通所C型の利用者を元気にする手助けをするという社会的役割も同時に担うことになった。
- ・この担い手の活動により通所C型の卒業率は大きく向上した。担い手となることで通いの場を得るだけでなく社会的役割を担うことになり、卒業率の向上というメリットが生まれ、通所C型の利用者はさらに多くの方に元気になって頂けるようになった。

【屋外活動の創出、提供】

- ・地域包括支援センター、生活支援コーディネーターと連携し、歩こう会を立ち上げた。今では卒業生がチラシを作成するなど主体的に活動している。
- ・屋外活動の一つとして、農園での作業を行っているC型の卒業生もいる。

取組の効果

- ・通所C型の利用が終了してからもほとんどの方が心身機能は維持向上されている。
- ・通院だけしか外出しなかった高齢者が定期的に外出や運動をするようになり、自立した生活を継続している。
- ・趣味も生き甲斐もない方であったが、今は担い手の活動自体が生き甲斐となっている。



<担い手と通所C型の関係性>

取組概要



歩こう会



農作業の様子